

吉岡初浩市長

3期目のビジョン

「高浜市を未来につないでいくために」

8月27日の市長選挙を経て、吉岡初浩市長の3期目の市政がスタートしました。高浜市を未来につなぐ、5つの政策についてお伝えします。



吉岡初浩（よしおか・はつひろ）

昭和30年 愛知県生まれ、昭和54年 名古屋市立大学経済学部卒業、平成11年 高浜市議会議員（平成19年まで三選）、平成17年5月～平成18年5月 高浜市議会議長、平成21年9月 高浜市長に就任、平成25年9月再選、平成29年9月3期目就任

はじめに

このたび、市長として今後4年間の市政を任せていただくこととなり、改めて身の引き締まる思いです。

これまで、時代とともに発生する新たな問題にも果敢に立ち向かい、目先にとらわれることなく、未来のために「今、なにをすべきか」を常に考えることを重視して市政運営にあたってまいりました。

全国的にも先んじて取り組んできた公共施設の課題と、それに対峙しながらの健全財政の維持には引き続き力を注いでいきますが、市民の皆さんとの対話と協働をさらに重視して「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかま」をめざし、次の時代につなぐための「未来投資」として5つの政策を進めます。

「健全財政と市民サービス向上」

に向けた未来投資

未来への投資のためには財源が必要ですが、健全財政を維持しつつ市民サービスは低下させず、より向上させるには、将来を見据えた財政計画をもとに、動き始めた公共施設総合管理計画を進め、かぎりある財源を将来につなげることが大切です。

すでに整備が進む豊田町に続く工業用地の創出、民間企業の設備投資の促進や雇用機会の拡大など、産業

振興などを通じた増収に取り組むとともに、公共施設跡地やふるさと納税制度など、持てる資源を最大限に活用し、新たな財源の確保に取り組みます。

また、現行の事業が真に必要なかを評価・検討し、投資に対する効果を明確にするため、常に点検・確認のPDCAサイクルを回し、かぎりある財源の効率的な活用に努めるとともに、庁舎内のICT化や行政内部事務の省力化・省資源化による歳出削減に取り組みます。

「子育てしやすい心豊かなまち」

に向けた未来投資

子どもたちが夢と希望を持ち未来に力強く羽ばたける環境を整える、次世代に負担を残さない、それが今の大人である私たちに課せられた使命です。公共施設の再配置も、教育の場を最優先に検討してきました。

子どもたちが「高浜市民の一員である」ことを感じながら成長するよう、地域と協働して実践している「高浜力リキュラム」にアクティブラーニングを取り入れ、主体的・対話的に深く学ぶことでコミュニケーション能力を育みます。今後必修化される英語教育やプログラミング教育においても高浜市ならではの特色をいかした教育に取り組むため、教育基